

秩父宮記念市民会館に緞帳を寄贈しました

秩父市で建設中の秩父宮記念市民会館がほぼ出来上がり、2017年1月20日に同会館ホール舞台で緞帳の吊り込み作業が行われました。

この緞帳はかつて旧秩父セメントが寄贈したもので、これまで旧市民会館で使われていましたが、今回これを補修するとともに、新市民会館の舞台の開口高に合わせて上部見切幕を新調しました。その図柄はユネスコ無形文化遺産に登録された秩父夜祭で六台の笠鉾と屋台がお旅所で不夜城の世界を現出している様子をベースに花火と武甲山をあしらったものとなっています。当社では秩父市からの要請に基づき、親会社である太平洋セメント株式会社と共同でこの緞帳を京都の美術工芸織物の老舗・川島織物セルコンに依頼して製作し、この度秩父市に寄贈いたしました。新市民会館ホールにお出かけの際には是非ご覧ください。

